

Bunka Navi 文化ナビ

〒 757-0002 山陽小野田市大字郡 1754 番地 ☎ 71-1000 FAX71-1002 E-mail:bunka-kaikan@city.sanyo-onoda.lg.jp

文化の薫るまちになあれ
不二輸送機ホール
(山陽小野田市文化会館)
休館日：第1・第3火曜日

ガラス探訪アーカイブス

山陽小野田市とガラス

このコーナーでは、本市が所蔵する現代ガラス作品とガラス作家を紹介します。

第5回 松尾 具美 (ガラス作家)

きららガラス未来館のガラス作家でもある松尾具美さんは、これまでの現代ガラス展で3度入選し、今年度の「第8回現代ガラス展 in 山陽小野田」においては、作品名「ひと雫」で「ホンムラ審査員賞」を受賞されました。

松尾さんの出身地である京都は焼き物が有名で、小学校のプログラムで陶芸の体験はありましたが、ガラスについては未体験でした。ガラス作品の制作を勉強するため、大学卒業後に富山ガラス造形研究所に入学。その後、きららガラス未来館にて、技術スタッフとして勤務しながら、ガラス作家として精力的に活動されています。今後は、「ガラスの素材を扱っていく中で、柔軟に考えをめぐらせながら、様々な作品制作に挑戦し、自分の知識の幅を広げて成長していきたい。また、きららガラス未来館へ来館されたみなさまにガラスの魅力や楽しさをお伝えしていきたい」と意欲的で、今後の活躍が期待されています。



【ひと雫】(写真右) ガラスのかたまりを電気炉で焼成し、ゆっくり徐冷した後、加工・研磨し、完成させるキャスト技法で成型。サンドブラストで模様を施すことで、作品を表現しています。ひとしずく。水面にうまれる、その模様。静かに広がる、しずくの軌跡をたどりました。

REPORT ~文化の薫るまちづくり~

◎小野田高等学校小倉百人一首かるた部 中国大会出場決定

9月13日、第23回中国地区高等学校小倉百人一首かるた大会山口県予選会にて、小野田高等学校小倉百人一首かるた部が優勝。11月に岡山県で開催される中国大会では、各予選会を勝ち抜いた8校が全国大会を目指して戦います。中国大会でも、活躍されることを期待しています。

COLUMN

結ばれない恋の「屏風歌」

ちはやぶる 神代も聞かず
竜田川からくれなゐに水くくるとは

在原 業平朝臣

〈現代訳〉不思議なことが多かったという昔の神々の時代にも、こんなことは聞いたことがない。この竜田川に紅葉が浮いて、川の水から紅のしぼり染めにしたなんて。

在原業平は、平安時代のプレイボーイで、『伊勢物語』の主人公のモデルとして有名です。つきあった恋人は、3,733人もいた！とまで言われています。この歌は、競技かるたの漫画のタイトルにもなりましたが、実際は、紅葉の名所の竜田川で詠まれたのではなく、紅葉を描いた屏風絵を前にして詠んだ「屏風歌」です。この時代には、競って「屏風歌」を詠む遊びが風流なものとして流行しました。この歌の屏風絵は、清和天皇の皇后高子の屏風です。『伊勢物語』には、業平と高子が身分違いの恋に落ち、駆け落ちをしましたが、彼女の兄に連れ戻されて涙にくれるという名場面があります。この結ばれない二人の恋があったからこそ、この「屏風歌」に込めた業平の特別な想いが伝わり、切なくもロマンチックな歌として後世に残ったのでしょうか。



小野田高等学校小倉百人一首かるた部
顧問 青池 のぞみ